

## 単元名 文字の大きさと配列

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 漢字と平仮名の大きさと配列に気を付けて、字形を整えて書くことができる。  
 (2) 目的にふさわしい書き方や書く速さを考えることができる。  
 (3) 用紙に対する文字の大きさと配列に気を付けて書こうとする。

## 標準的な展開例

06020103\_001

【教材名】『歩む』（毛筆）／レッツ・トライ 話し合いメモ (P.9～P.11)

【準備等】練習用紙，まとめ書き用紙，標準字体と許容字体を拡大したもの，感想用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 用紙に対する文字の大きさと配列に気を付けて『歩む』を書く。          ★用紙に対する文字の大きさと配列に気を付けて書こう          ○毛筆で『歩む』を試し書きする。          ○試し書きと教科書の文字を比較して、気付いたことを話し合う。          ○組み立て方や筆使いについて理解する。</p> <p>○毛筆で『歩む』を練習する。</p> <p>○『歩む』をまとめ書きし、自己評価・相互評価をする。</p> <p>4 目的に合わせて書き方を知る。          ★目的にふさわしい書く速さ・書き方を考えよう          ○目的に応じた書く速さについて話し合う。</p> <p>○場面ごとに、どんなことに気を付けて書くとよいかを話し合う。</p> <p>○速く書くときのポイントを確認する。</p> <p>○本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を見ないで書くようにさせる。</li> <li>・漢字と平仮名の大きさの違いに気付かせる。</li> <li>・教科書の文字に中心線や左右の縦線を書かせる。</li> <li>・『歩』と『む』を同じ大きさで書いたものも用意しておく、違和感が伝わりやすい。</li> <li>・半紙に中心線や補助線を入れて、自己課題に合った練習用紙を作ってもよいことを知らせる。</li> <li>・『歩』については、上下の縦画を短くし、中央の横画を長く引くと、まとまりよく書けることを確認する。</li> <li>・『歩』の横画の両端を補助線に見立てて、『む』を小さめに書くよう助言する。</li> <li>【評】練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・教科書の文字・試し書き・まとめ書きを隣席同士で見合い、互いによくなった点を見付けさせる。</li> <li>・文字の大きさや配列に着目させる。</li> <li>【評】作品を通して、文字の大きさや配列に対する「知識・技能」を評価する。</li> <li>・日頃の学習活動を想起させ、スピード優先で書く場合やゆっくり丁寧に書く場合があることを押さえる。</li> <li>・自分用に速く書く場合と、できるだけ速く書く場合、相手を意識してゆっくり丁寧に書く場合を想起させ、それぞれで気を付けるべき点を挙げさせる。</li> <li>【評】話し合いを通して、場面に適した書き方に関する「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・教科書P.11を参考にしながら、様々に書き方が変化することを理解させる。</li> <li>・標準字体と許容字体とを比較できるように、拡大文字を用意しておく。</li> <li>・本時の学習を振り返り、分かったことや感想を書かせる。</li> <li>・学習したことを日常生活にも生かしていけるよう声掛けをする。</li> <li>【評】分かったことや感想を書くことを通して「知識・技能」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】